

中国：2020年1～12月の自転車輸出入状況について

中国機電産品輸出入商会（機電商会）は4月23日に2020年1～12月の自転車輸出入状況について発表した。

機電商会発表文書

[中国机电产品进出口商会-中国自行车出口额增长 \(cccme.org.cn\)](http://cccme.org.cn)

それによると、2020年の1～12月の中国の自転車輸出状況は、金額が前年同期比28.3%増のUS\$36億9,100万で過去最高、台数は同14.8%増の6,086万台、平均輸出単価は同11.8%上昇しUS\$60.6であった。一方、同じ期間の輸入金額は前年同期比37.1%増のUS\$3,504万であった。

仕向け地別では、米国向けが第一位で、2020年の輸出金額はUS\$8億6,000万で対前年同期比39.7%増、第二位は我が国で、輸出金額はUS\$5億7,600万で同0.4%減、第三位はフィリピンで、輸出金額はUS\$2億7,300万で同386.9%増であった。インドネシア、韓国等アジア向け輸出が好調となった一方で、ロシア及びカナダ向けは前年比減少が示された。

車種別に見ると、「その他」が最も多く、輸出金額はUS\$25億2,000万、輸出台数は4,636万台、輸出平均単価はUS\$54.4であった。次は「マウンテンバイク」で、輸出金額はUS\$9億1,000万、輸出台数は952万台、輸出平均単価はUS\$95.5であった。

機電商会によると2020年の自転車輸出状況は初期低水準、後期高水準の状況を呈し、2020年2月には輸出金額が前年同月比58.9%も減少していたものが、海外需要の増加により11月には前年同月比109.1%増となった、とのことである。

詳細について関心のある方は、上記の発表文書を参照していただきたい。

以上